



課題4-5 非常用持出袋の中身を考えよう

<この指導の前に準備すること>

- 千葉県から各学校に配布されている「ポケット版防災冊子」*1と防災教育DVD「『いのち』を守る!!そして助け合う心を!!～いつ起こるか分からない地震に備えて～」(約30分)を見ておく。
- 非常用持出袋の中身の30のグッズをフラッシュカードに書いて、裏にマグネットシートを貼り、黒板上で自由に動かせるようにしておくとうりやすい。時間がない場合は、グループで書かせてもよい。

<授業展開例> (全学年で展開可能)

第〇学年 学級活動学習指導案

1 題材名 非常用持出袋の中身を考えよう

2 題材の目標

- (1) 自分の家の非常用持出袋の中身を考えることができる。
- (2) 家に戻って非常用持出袋を用意しようとする意欲を持つ。

3 題材の評価

自宅で非常用持出袋を用意することができる。

4 本時の活動

- (1) 非常用持出袋の必要性を理解し、非常用持出袋の中身をグループで考える。
- (2) 防災教育DVDを見て、実際の被災者の体験談を聞き、「備えあれば憂いなし」という意識を高める。

5 本時の展開

時配	学習内容・学習活動	支援 (○), 留意点 (●), 評価 (☆)
導入 (5分)	1 テキストを読んで、災害が起きたことを想定し、「備えあれば憂いなし」ということを意識する。 2 自分の家の非常用持出袋には何が入っているのか発表する。 3 自分の部屋に置いてある人は、何が入っているかを発表する。	・日ごろから被災したことを想定し、イメージトレーニングすることが大切であることを強調する。(●) ・自宅で用意しているか知らない生徒もいるので、帰宅したら確かめるようにさせる。(●) ・用意してある家庭の生徒に紹介してもらおう。 ・意識の高い生徒がいたら、他にも家庭での防災対策について話してもらおう。(●)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 学習課題 非常用持出袋の中身を考えよう。 </div>		

<p>展開</p> <p>(40分)</p>	<p>4 「非常用持出袋」と「非常用備蓄品」は違うことを理解する。</p> <p>・ワークシートに書き込みながらグループで話し合いを進めていく。</p> <p><グループ学習></p> <p>①まずは自分で持っていくものを選ぶ。</p> <p>②グループ内で発表し合い、共通していたものを書き出す。</p> <p>③グループ内でバラバラだったものを書き出す。</p> <p>④話し合いの結果から自分たちのグループの非常用持出袋の中身を考える。</p> <p>⑤それぞれのグループが発表する。</p> <p>5 防災教育DVDを見せ、被災者の話や、実際に非常用持出袋についての話を聞かせ、自分たちの考えと比較する。</p> <p>6 話し合いやDVDを見た感想を書く。</p>	<p>・「非常用持出袋」は地震直後に持っていく物で、「非常用備蓄品」は避難所などで生活しなければならない時に必要なもの、ということを説明したうえで考えさせる。(●)</p> <p>4～6人のグループをつくらせる。</p> <p>・司会者を決めさせる。</p> <p>・司会が進行し、全員の意見を聞けるように指名したり、順番で意見を出させたりする。</p> <p>・発表する時に理由も一緒に言うようにさせる。発表している間は静かに聞くようにさせる。</p> <p>・紙に書かせて掲示発表させるか、フラッシュカードを移動させて自分たちのグループの考えを理由も一緒に発表させる。(●)</p> <p>・DVDを見ながら、阪神・淡路大震災の被災者の話や同じ中学生の防災についての考えを聞くことにより、人ごとではないということを意識させたい。(●)</p>
<p>まとめ</p> <p>(5分)</p>	<p>7 課題4-4について家族で話し合うことを確認する。</p>	<p>・自己評価と相互評価を行わせる。</p> <p>・積極的に話し合いに参加できたか。(☆)</p> <p>・非常用持出袋の必要性と中身について分かったか。(☆)</p> <p>・家庭によって非常用持出袋の中身は工夫してよいことを確認させる。(●)</p> <p>・袋の準備や保管場所、だれが持ち出すのかなど、家族で話し合う必要があることを認識させ、自分が家族の防災リーダーとなって会議を開き、ワークシートの内容を話し合ってくることを宿題にする。</p>

<関連して>

その他の資料として千葉県防災教育資料「備えあれば憂いなし」*2 が配付されているので再度内容を確認しておく。

「ポケット版防災冊子」(千葉県教育委員会ホームページ「ちば・ふるさとの学び」本文のサイトに掲載)を印刷及び配付し、常に身につけておくように指導する。

災害用伝言ダイヤルサービス等を一度家族で練習しておくように指導する。

*1 URL : http://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/gakuho/pocket_seito.pdf

*2 URL : <http://www.pref.chiba.ig.jp/kyouiku/gakuho/bousai.pdf>